

## コンピュータ翻訳ソフトの検証と利用への提言Ⅱ

笹 部 徹

### Verification of Translation by Computer Software and Suggestion to their Users

Toru Sasabe

*Department of English, School of Letters*

*Mukogawa Women's University, Nishinomiya 663-8558, Japan*

#### Abstract

Advancement of computer technology and the increasing number of students studying languages have brought us computer software of translation from one language to another or others. There are many forms of this software available on the recent market and we can access these on websites as an aid of translation. And some fully rely on these software when they need to read or write foreign languages. This paper discusses on the accuracy of translation by computer software from English to Japanese and Japanese to English with using different sorts of material and offers suggestions for the different levels of English learners in Japan when they employ this form of software.

#### 1. はじめに

翻訳ソフトとは、いわゆる機械翻訳を意味する。電子化されたある言語をコンピュータが与えられた言語的な知識を使用し目的の言語に翻訳するシステムである。この機械翻訳の発祥は、史上初のコンピュータが誕生した1945年以前の1933年で、ロシア人トロヤンスキーが特許を申請した時から始まる。初期の機械翻訳はコンピュータの演算速度も遅く、また翻訳ソフトに組み込まれた言語的な情報も乏しいものであったが、近年の研究開発により以前とは比べものにならない程に速度、精度が増している。最近の翻訳ソフトは種類が豊富になり、著しい販売の伸びを示し、これらは仕事上や個人レベルで様々な用途の翻訳に利用されている。コンピュータの普及に伴って、スキャナー(読み取り機)やOCR(文字認識ソフト)の需要も増え、タイプ打ちによる入力の手間が軽減した事も一因であろう。また現在は多くの人々が手軽にインターネットを利用出来る環境になりそれに伴い、Webページの検索閲覧が日常化している。Webページ上で最も多く使用されている言語が英語であり、その情報を利用する機会が増えている。つまり英語を理解できなければ、取り入れる情報量に格段の差が出てくるのである。翻訳ソフトはこのようなWebページの翻訳にも利用され、ソフトをブラウザに組み込むアドイン(ad-in)機能を使えば全文又は選択した範囲だけの翻訳も行える。

ここではコンピュータ翻訳ソフトの中で代表的な英文和訳と和文英訳の2つのソフトを例として取り上げ、実際の題材を使用して得られた英文翻訳、和文翻訳結果と、それらの正誤分析結果を基に、翻訳ソフトにはどのような利点、欠点、又どの程度一般的なレベルにおいて利用が出来るものであるのかを考察し

た。また同時に翻訳ソフトの有効利用、翻訳ソフト自体の改善案についても提案も試みた。

## 2. 翻訳ソフトについて

検証に使用した翻訳ソフトは、英語から日本語の翻訳には“E-JBANK (Version. 7)”，日本語から英語の翻訳には“J-E BANK (Version. 6 Copyright)” (エーアイロジック株式会社発売) である。市場には他にも様々な種類と値段の翻訳ソフトがあり、安価なものから非常に高価なものまである。また1つのソフトで英訳と和訳が可能なものもあるが、どちらかの翻訳精度に偏りがある可能性も考慮して、平均的な値段で英訳と和訳を別々に分けて販売しているという理由でこの2つを選択した。この他には翻訳ソフトを購入せずとも Microsoft, Epson Direct, 等のホームページにおいて利用者へのサービスとして Web 上で翻訳が行える。

## 3. 翻訳題材について

翻訳に使用した題材は紙面上検証した中から限られたものしか掲載出来ないが、一般に英語から日本語への翻訳利用頻度が多いと判断し、例題数は英文和訳を2題、和文英訳は1題を載せた。使用した題材は以下の通りである。

### (1) 英文和訳Ⅰ (国内出版雑誌)

国内出版雑誌『MINI WORLD June-July 1999 No.65』の記事を用いた。題材の選定理由は、日本人向けに出版された英字雑誌の一部のため、語の省略、俗語、口語表現等の英語特有の表現が比較的少ないからである。

### (2) 英文和訳Ⅱ (海外出版雑誌)

“LEONARD—Scrapbook in Words and Pictures”の一部を使用。文章は英語(米語)を母国語とする読者用に書かれているので、俗語、口語的表現等が含まれている。

### (3) 和文英訳Ⅰ (ラジオ英語講座テキスト)

『NHK ラジオやさしいビジネス英語 1998年6月号』のテキストを使用。聴講者向けに作成された和文英訳課題であるので、構造的、文法的にも翻訳ソフトにとって比較的訳し易いのではないかという推測のもとに、また他に各号の様々な分野についての課題を訳出してみたが、本号の『抗菌製品』には最も翻訳ソフトの特徴が出ていたので採用した。

## 4. 翻訳とその提示説明

Web ページを翻訳する場合はすでに電子化されているので ad-in や原文を copy & paste すればソフトの利用は容易であるが、ここでは一般書籍からの翻訳であるので、まず原文を電子化、つまりソフトに認識させる原稿にするためスキャナで取り込み、OCR で文字認識を行った。一般的には翻訳ソフトの基本的な翻訳機能を利用すると考えるのが適当であるが、これらのソフトには翻訳精度を上げる為に、訳語選択機能、対訳機能、翻訳処理モード機能といった再翻訳機能という付加機能が付いている。そこでこれらの付加機能も試すことにして、以下のような翻訳構成になっている。なお、和文英訳Ⅰ-3. については修正が多岐に渡るので略している。

1. 原文 2. 翻訳基本機能のみを使用した翻訳 3. 付加機能を最大限に利用して再翻訳をした翻訳 4. 翻訳ソフトで訳された文を使用し、訂正という形をとった翻訳例

## 5. 翻訳文

### (1) 英文和訳Ⅰ(国内出版雑誌)

#### I-1. (原文)

##### A Spy in the House of Education

At the age of 18, like most Americans, Leath Workman went off to college. Unlike most Americans, she left for another country—Japan. Her interest in Japan began with exchange students who used to do homestays with her family in the U.S.

At that time she had not yet determined exactly what she wanted to study, but she knew she first had to improve her Japanese. After a year and a half of study, she was ready and passed the entrance examination to Waseda University.

There, quite soon she decided on her major—political science. What she is studying is unimportant, except to her, of course. What is more interesting is her insider position in one of the most prestigious universities in Japan.

What first amazed her was the students' level of knowledge. In comparing Japanese high school graduates entering Waseda University to Americans, she comments, "I feel they're ahead by about four years in terms of the volume of knowledge, not the 'quality' of knowledge."

She also found there was a huge attitude difference: "I think the main difference between Japanese university students and Western university students is the Japanese students, especially in the good universities, believe their education is a right. [They feel] that they've studied, they got in, and they have a right to the glory no matter what the costs for their parents. I think Western students, even wealthy people, do not think like that and appreciate how much they, or their parents, spend for their education."

What Workman finds most interesting is "more than education itself, I get to see something almost no Westerner has probably seen. It's like being a spy out in the open. I am one of the few Western people I know who actually gets to know what the elite of the country get taught, do, think, eat, and breathe, before they go out to from the ruling class of businessmen, of media people, of political advisors."

This "spy" also has some predictions on Japan's future and it's not bright. "I think Japan's going to go through that ugly, ugly transition phase that every other developed country went through when they stopped growing. First of all, your infrastructure, your families, your school systems break down. You get juvenile(teenage)crime rates rising. You get drug use. You get joblessness. You get that lost generation who don't have a dream anymore. And then you get that next generation of hungry people willing to work harder."

Well, who knows what the future will really be like, but Workman's observations sure are worth thinking about.

『MINI WORLD June-July 1999 No.65 p.p.15』

#### I-2. 翻訳基本機能のみを使用した翻訳

##### 教育の家におけるスパイ —[E-J BANK 翻訳文]—

18の年齢に、ほとんどのアメリカ人のように、Leath 職人は大学に爆発した。ほとんどのアメリカ人と異なり、彼女は他の国日本に出発した。彼女の日本に関する興味は米国における彼女の家族で家滞在をすることが習慣であった交換学生から始まった。

あの時に、彼女まだ決定しなかった、正確に何彼女学欲しいと思う、しかし彼女は彼女が最初に彼女の日本を改良しなければならなかったことを知っていた。1年および研究の半分のあと、彼女は用意が整っ

ていて、入場試験を早稲田大学に渡した。

そこに、まったくまもなく彼女は彼女の主要な――政治科学に決めた。彼女が研究していること、彼女に以外には、重要でない、もちろん、より面白いこと、日本における最も威信大学のうちの人における彼女のインサイダー位置。

どんなびっくりさせられた1番目彼女、知識の学生のレベル。日本の高校卒業生の入るアメリカ人に対する早稲田大学を比較するのに、彼女は「私は感覚がある彼らが前へ知識、notの知識の『質』の大量から見ておよそ4年ほどいる、」と述べる。

彼女はまた巨大な態度相違があったとわかった：「私は日本の大学学生および西洋の大学学生の間の主要な相違を思う、特に良い大学における、日本の学生は、彼らの教育が右であると信じる。彼らは感覚があり、彼らが学んだこと、彼らの親のための原価、たとえ何彼らは着き、彼らは栄光に対する右を持っている。私は西洋の学生、裕福な人々が、そのように思わないと考え、どのくらい彼らか、彼らの親が、彼らの教育のために金を費やすかを感謝する。」

最も面白く見出す職人、「教育より多く、私はほとんどまったく何かを見るようになる西部人はたぶん見えなかった。それはオープンで外にスパイがあるようです。私はほとんどの西洋の人々の人である私は知っているその人は現実知にさせる、政治忠告者について、メディア人々について、実業家の支配するクラスから、彼らが外出する前に、どんな国のエリートが教えるようになるかは、食べ、思し、呼吸する。」

この「スパイ」は日本の未来にまたいくつかの予言を持っていて、それは明るくない。「私は日本のあの醜い、醜い移行段階を通過して行くために行きを思ういつを通過して彼らが成長することをやめたか、あのその他すべての発達させられた国は行った。まず第一に、あなたのインフラストラクチャー、あなたの家族、あなたの学校システムは下に砕ける。(10代だ)犯罪の率上昇、あなたは少年少女になる。あなたは薬使用を得る。あなたは失業を得る。あなたは今は夢を持っていないあの失った世代を得る。そしてあなたはもっと熱心に働くことを進んでする空腹の人々のあの次の世代を得る。」

よく、確かな職人の観察を除いて、未来が何のようであるかを知っている人、価値がある、考え。

### I-3. 付加機能を利用して再翻訳をした翻訳

#### 教育の議会におけるスパイ ―〈訳文例〉―

18の年で、多くのアメリカ人のように、リースワークマンは大学に進学した。多くのアメリカ人のようではなく、彼女は他国―日本へ出発した。アメリカの彼女の家族でホームステイをするのが習慣だった交換留学生から、彼女の日本への関心が始まった。

そのとき、彼女は何を勉強したいのかまだはっきり決めていなかった、しかし最初に彼女の日本語を改善しなければならない、と彼女は知っていた。一年半の勉強の後、彼女は準備が整って早稲田大学の入学試験に合格した。

そこで、とてもすぐに彼女は選考を政治科学に決めた。もちろん、彼女を除いては、彼女が学んでいることは重要ではない。もっと興味のあることは、日本の名門大学のひとつの中における彼女の位置だ。

彼女が最初に驚いたことは学生たちの知識レベルだった。早稲田大学に入学した日本人高校卒業生とアメリカ人を比べて彼女は批評する、「知識の『質』ではなく知識の量では彼らは4年ほど前にすすんでいると感じます。」

彼女は大きな態度の違いがあることも見つけた。：「日本人大学生と欧米人大学生の主な違いは、特によい大学の日本人学生は彼らの教育は正しいと信じていることだ、と思います。彼らは勉強して大学に入り、そして彼らの両親にどれだけの費用がかかっているようにも、栄光の権利があると思っています。欧米人学生はたとえ裕福な人々でも、そのようには思わないで、彼らや両親が教育にいくら使ったかに感謝する、と思います。」

ワークマンが目をつける最もおもしろい事は、「教育自体よりも、ほとんどの欧米人がおそらく見えなかった何かは、私は見えるようになります。それは公にスパイをしているようです。実業家や、マスコミ

人や、政治評論家達に則されている講義から、彼らが外に出る前に、その国のエリートが、何を教わり、行動し、思い、食べ、生きているのかを、実際に知るようになった、私は数少ない欧米人の一人です。」です。

この「スパイ」は、日本の将来の予言もいくらかしているが、それは明るくない。「他のどの発展国が成長をやめた時に通り過ぎた、あの卑劣な卑劣な過渡期を日本が通り過ぎようとしているところだと思えます。まず最初に、貴方の社会構造、家族、学校制度が壊れます。10代の犯罪率が上がります。麻薬を使うようになります。失業者になります。もはや夢のない失われた世代になります。そしてそれから、より一生懸命働こうとする飢えた人々の次世代となります。」

では、未来が実際どのようなようになるか誰が知っているだろうか、しかしワークマンの意見は確かに考える価値があるだろう。

#### I-4. 訂正例

教育現場におけるスパイ —《意識文例》—

アメリカ人のほとんどがするように、リースワークマンは18歳になり大学へ進学した。しかし一般学生とは違い、彼女は日本へ留学する道を選んだ。彼女の日本に対する興味は、アメリカ在住の頃、家庭で留学生を受け入れていたことがきっかけとなった。

その時、彼女自身何を学びたいのか、まだ明確には決めていなかったが、日本語に堪能にならなくてはならないと思った。そして一年半かけて受験勉強をし、早稲田大学に合格した。

そこで、彼女はすぐに政治学を専攻することに決めた。もちろん彼女が何を学んでいるかは、私たち読者にとっては重要なことではない。それより興味深いことは、彼女が数ある日本の一流大学のうちの内部的な存在になっていることである。

彼女がはじめに驚いたことは、学生の知識レベルだった。早稲田大学に入学する日本人高校卒業生とアメリカ人学生を比較して、「知識の『質』ではなく、量だけでいえば、日本人学生は大学卒業レベルに達している気がする。」と彼女は批評する。

彼女はまた学生の態度の違いも見い出した。「日本人学生と欧米人学生の主な違いは、特に一流大学に在学している日本人学生に言えることだけど、彼らの受けてきた教育が最も正しいと信じていることなの。知識を詰め込み、大学に入学することは、立派なことだと思っているわ。その教育に自分たちの両親がどれだけお金をかけたかは気にもとめないの。でもね、欧米人学生は、たとえ裕福であっても、そんな風には考えないで、どれだけ彼らや両親が教育に使ったかを感謝するわ。」

ワークマンが目をつけたことは次のことです。「私は、たぶん今まで欧米人の誰も知らなかったことを見つけた気がする。それは教育そのものではなくてね。なんだか堂々とスパイをはたらいているみたいだわ。私は、この国のエリート達が、実業家、マスコミ人、政治評論家達が講じる授業を終え社会に出る前に、実際どんな教育を受け、何をし、何を考え、何を食べ、どう生活するかを知っている数少ない欧米人なの。」

この「スパイ」はまた、日本の将来に対して次のように予言しているが、それは必ずしも明るくないという。「日本は、他の発展国が高度成長を遂げた時に経験した、過酷な過渡期を通り過ぎようとしているんだわ。まず最初に、社会構造、家庭、教育組織が衰えるでしょ。そしたら10代の犯罪率が上がって、麻薬を使うようになって、職を失うようになるわ。もはや夢のない失われた世代となるのよ。そしてその後、何事にもハングリー精神のある次世代がやってくるでしょう。」

では、未来が実際どのようなようになるのか誰が知っているだろうか、いや誰にも分からない、だが、ワークマンの意見は、今後取り上げるべき課題だろう。

#### (2) 英文和訳Ⅱ (海外出版雑誌)

##### Ⅱ-1. (原文)

Leonardo Dicaprio

From the moment Leonardo Dicaprio appeared on the big screen, the camera loved him. He's a

photographer's dream. When he looks into a camera, a transformation takes place. One cameraman who worked with him says, "He looks great in any light and from any angle. You can put him under fluorescent lighting and he still looks like a million dollars."

With his piercing blue-green eyes and his shock of blond hair, Leonardo is breaking heart and box-office records around the globe. In less than five years, he has established himself as a major player in the Hollywood game- and he's only just beginning. Leonardo has the won the adoration of millions of fans, as well as the admiration of his peers. Everyone gushes over his acting-critics, directors, and his costars.

Leonardo is the first to admit that he's surprised by his quick success. When he set out to become an actor, he had no burning ambition to transform himself into a movie star. "I never really took it seriously," he says, "I never really thought it would happen."

Leonardo Wilhelm Dicaprio was born on November 11, 1974, in Hollywood, California. His parents, George and Irmelin, named him after the Renaissance artist Leonardo da vinci. While Irmelin was looking at painting by da vinci in a museum in Italy, she felt her unborn baby kick. That, and the fact that the middle name of Leonardo's paternal grandfather was Leon, clinched the Dicaprios' decision.

For the first year of baby Leonardo's life, everything in the Dicaprio household seemed perfect. George and Irmelin thought they were ready for the responsibility of raising a child. But they were young, and it proved to be too much for them. Though they adored their baby boy, they separated when Leonardo was only one year old.

After his parents went their separate ways, Leonardo lived primarily with his mother. But his father, who had moved just across Los Angeles, was always around to spend time with his son.

Life with Leonardo was exciting for Irmelin, who says the young actor has always been very determined. "He started speaking when he was quite young, and once he began he just kept on going," she says with a laugh. "He was, and still is, a boy who communicates very well."

『LEONARDO A Scrapbook in Words and Pictures pp.3-6』

## II-2. 翻訳基本機能のみを使用した翻訳

レオナルドデイケイプリオ -[E-JBANK 翻訳文]-

大きいスクリーンで出現された瞬間レオナルドデイケイプリオから、カメラは彼を愛した。彼は写真家の夢です。彼がカメラの中をのぞくとき、変形は起こる。彼と働いた1人のカメラマンは言う、「彼はよく中に、すべての角度から少しは軽くみえる。あなたは彼を蛍光照明に委ねることができ、彼はずっと1000000ドルのようだ」。

彼の貫く青緑の目と金髪の色彼のショックと、レオナルドはハートを破っていて、箱事務所は地球のまわりに記録する。5年より少なくのうちに、彼は彼自身をハリウッドゲームにおける重要な選手として落ちつかせてきたーそして彼はやっと初めです。数百万のファンのあこがれと同様に、彼の同僚の敬愛を与えられてレオナルドは受ける。すべての人は彼の演技を通じてほとばしりでー批評家、ディレクター、と彼の共スター。

レオナルドは彼が彼のすばやい成功に驚いていると認めるための1番目です。彼自身を映画スターに変えるための炎上中野心、彼が俳優になることに着手したとき、彼はまったく持っていなかった。「全く私ははじめにそれをとらな本当に」、彼は言う、「全く私はそれが起こると思えな本当に。」

カリフォルニア州、レオナルドイルヘルムデイケイプリオは、ハリウッドで、1974年11月11日に生まれた。彼の親、ジョージとイーメルン、ルネサンス芸術家レオナルド da vinci のあと彼に名を付けた。イーメルンが da vinci をイタリアにおける博物館でそばに描くことを見ていたとき、彼女は彼女の胎児キックを感じた。それと、レオナルドの父の祖父のミドルネームがレオンであったという事実は、デ

イカプリオスの決定に決着をつけた。

ベビーレオナルドの生活の最初の年のために、デイケイプリオの家計におけるすべてのものは完全にみえた。ジョージとイメリンは彼らが子を育てる責任の用意が整っていたと考えた。しかし彼らは若く、それは彼らにとって過度に多いことがわかった。彼らが彼らのベビー少年を崇拜したけれども、レオナルドがたった1歳であったとき彼らは離れた。

彼の親が行ったあとに彼らの別の方法、レオナルドは彼の母と第一に生きた。しかし、その人はロスアンジェルスをやこぎってちょうど移動してきたが、彼の父は、常に彼の息子と時間を過ごすためにあたりにいた。

常にとても堅く決心してきてきた、レオナルドと生活はイメリンにとって刺激していて、そしてその人は若い俳優を言う。「彼がまったく若かったとき彼は口をきくことを始めて、彼が始めた一度、彼はちょうど続けて行き続けた」、彼女は笑いと言う。「とてもよく対話する少年、いる、まだ、彼がいた」。

### Ⅱ-3. 付加機能を利用して再翻訳をした翻訳

レオナルド・デイカプリオ —〈訳文例〉—

レオナルド・デイカプリオが、大きな映画に出演するや否や、カメラは彼を好きになった。彼はカメラマンにとって、素晴らしい人物である。彼が、カメラの中を覗き込んだとき、変化が起こるのだ。彼と共に仕事をしたカメラマンは言う、「彼は、どんなライトでも、どんな角度からでも、カッコいいんだ。彼を照明ライトの下に置くと、彼は100万ドルのように見えるよ。」

貫く青緑の目とブロンドヘアのレオナルドは、世界中の人を失恋させ、興業成績の記録を破っている。五年未満に彼はハリウッドゲームで、生き残れる大物俳優の地位を確立した。彼は、たった今始まったところだ。レオナルドは何百万人ものファンの熱愛を得ていて、同様に、同じ俳優たちからも、賞賛を得ている。批評家、監督、共演者、皆が、彼の演技をしゃべりたてる。

レオナルドは彼の速い成功を驚いたことを認めた最初の人自身も驚く速いサクセスストーリーを一番に認められた人だ。彼は、俳優になると決意したとき、自分を映画スターへと変えるほどの燃える野心を持っていなかった。「僕はそれを一度もまじめに考えたことは無かったよ。僕はそれが起こるだろうとは一度も思わなかったよ。」と彼は言う。

レオナルド・ウイルヘルム・デイカプリオは、1974年11月11日、カリフォルニア州、ハリウッドで生まれた。彼の両親である、ジョージとイメリンは、ルネサンス芸術家のレオナルド・ダ・ヴィンチにちなんで、彼に名を付けた。イメリンがイタリアの美術館でダ・ヴィンチの絵を見ていたとき、彼女はまだ生まれぬ赤ん坊が蹴るのを感じた。そういったことと、レオナルドの父方の祖父のミドルネームがレオンと事実が、デイカプリオ家のなかでの決定を最終的なものにした。

赤ちゃんレオナルドの生活の一年間、デイカプリオ一家の中の全てが完璧のようにみえた。ジョージとイメリンは、子供を育てることの責任を取れる準備ができていた思っていた。しかし、彼らは若く彼らにとって重すぎるとわかったのであった。彼らは、小さな息子をととても愛していたけれども、レオナルドがたった1歳のとき、離婚した。

両親が分かれた道を進んだ後、レオナルドは、大半は、母親と一緒に過ごした。しかし、ちょうどロサンゼルスを超えたところに引っ越してきた彼の父親が、息子との時間を、過ごすためにいつも、近くにいた。

レオナルドと一緒に過ごす生活は、イメリンをわくわくさせたと、その彼女は若い俳優はいつもとても固い決心をしていると言う。「彼はとても小さいころから、おしやべりしだしたわ。そして、彼は一度話し出したら、話し続けるのよ。彼はコミュニケーションを取るのが本当に上手な男の子だったわ、それは、今でもよ。」と、にっこりしながら、彼女は言った。

### Ⅱ-4. 訂正例

レオナルド・デイカプリオ —《意識文例》—

レオナルド・デイカプリオが、ヒット作品に出演するや否や、カメラは彼のとりこになった。彼はカメ

ラマンにとって、素晴らしい人物である。彼が、カメラの中を覗き込んだとき、変化が起こるのだ。彼と共に仕事をしたカメラマンは言う、「彼は、どんなライトでも、どんな角度からでも、カッコいいんだ。彼に照明を当てると、彼はなおさらすてきに見えるんだ。」

鋭い視線を放つ青緑の瞳とブロンドヘアのレオナルドは、世界中の乙女を失恋させ、興業成績の記録を破っている。五年も経たないうちに彼はハリウッド界で、大物俳優の座についた。彼は、始まったばかりなんだ。レオナルドは何百万人のファンから愛され、同様に、同じ俳優たちからも、賞賛されている。批評家、監督、共演者みんなが、彼の演技について、口々に言っている。

レオナルドは彼自身も驚くほど速いサクセスストーリーを最初に築き上げた人だ。彼は、俳優になると決意したとき、映画スターへと大躍進する無謀な考えは無かった。「一度も本気で受け止めたことは無かったよ。こんな事が起きるなんて思ってもいなかったよ。」

レオナルド・ウィルヘルム・ディカプリオは、1974年11月11日、カリフォルニア州、ハリウッドで生まれた。彼の両親である、ジョージとイレメリンは、ルネサンス芸術であるレオナルド・ダ・ヴィンチにちなんで彼に名を付けた。イレメリンがイタリアの美術館でダ・ヴィンチの絵を鑑賞していたとき、彼女は胎児がお腹を蹴るのを感じた。そういったことと、レオナルドの父方の祖父が、レオンというミドルネームだったことが、ディカプリオ家のなかで、命名の決め手となった。

幼いレオナルドが生まれて最初の一年間、ディカプリオ家は、全てがうまくいっているようにみえた。ジョージとイレメリンは、子供を育てる責任を取れる態勢が整っていると思っていた。しかし、彼らは若く、責任が重すぎるとわかっていて、彼らは小さな息子をとても愛していたけれども、レオナルドがまだ1歳のときに離婚した。

両親の離婚後、レオナルドは、大半は母親と一緒に過ごした。しかし、ちょうどロサンゼルス郊外に引っ越してきた父親が、息子との時間を過ごすためにいつも近くにいた。

レオナルドと一緒に過ごす生活は、イレメリンをわくわくさせたと、彼女は若い俳優達にいつも力強く言っている。「彼は本当に小さいころから、おしゃべりしだしたわ。あのこったら、一度話し出したら、もう止まらないのよ。彼はコミュニケーションを取るのが本当に上手な男の子だったわ、いえ、それは、今でもよ。」と、にこつりしながら、彼女は言った。

### (3)和文英訳Ⅰ(ラジオ英語講座テキスト)

#### I-1. (原文)

##### 抗菌製品

日本人は清潔好きである。これにつけ込んだ製品が近頃たくさん市場に出まわっている。いわゆる抗菌製品である。1992年にこの目的で消費された無機抗菌薬剤は38トンであったが、1994年にはこれが94.7トンに跳ね上がった。この抗菌製品ブームに火をつけたのが、1980年代に出た男性用の靴下である。この靴下には足の悪臭の原因となるカビの発生を防ぐ処理が施されていた。これはヒットし、今日でも売れているという。1994年には、抗菌の肌着、タオル、家電製品、ベビー・カーなどが発売され、最初は主に病院や保健所で使用された。最近、人と違うものを持ちたいという若い人、特に女性の間で人気があるのが、特殊加工されたボールペン、ノート、消しゴムなどの事務用品である。しかし、これらの抗菌製品には特別な医学的な意味はないという人もいる。

『NHK ラジオ やさしいビジネス英語 1998 6月号 p.p.172』

#### I-2. 翻訳基本機能のみを使用した翻訳

##### Anti-germ products -<J-E BANK 翻訳文>-

Japanese is a lover of cleanliness. Crowded products take place of this nowadays much it rotates. It is so-called anti-germ products. Though the inorganic anti-germ medicine that was consumed with this purpose in 1992 38 tons, this bounced and went up for 94.7 tons in 1994. It is socks for the male who appeared in 1980's use that I was able to take place for a fire for this anti-germ products



boom. For these socks cause of a bad smell of a foot to management to defend from an occurrence of a mold was donated. This hits and says that I am sold today also. In 1994, an underwear of an anti-germ, towel, house electricity products, and a baby car was sold and first was employed in a hospital and a health center mainly. To differ from a person, recently, young person that I would like to have it woman especially, in the intervals and popularly, I am ball point pen that I had have had done special processing, notebook, office supplies of a rubber eraser. However, a person that it isn't meaningful to be medical to be special also is for these anti-germ products.

#### I-4. 翻訳訂正例

Bacteria-resistant products      -《意識文例》-

The Japanese like everything to be clean. There are now a great number of products on the market that take advantage of this national characteristic. They are so-called bacteria-resistant products. In the year of 1992, 38 tons of inorganic antibacterial agents were used in the manufacture of such products, the figure shot up to 94.7 tons in 1994. What started this boom was a line of men's socks that came on the market in the 1980's. These socks had been treated to resist the growth of molds that cause foot odor. They were a hit and are still selling well nowadays. In 1994, underwear, towels, household appliances, baby carriages, and so forth with antibacterial treatment were introduced and were used mainly in hospitals, and health centers. These days, specially treated pens, notebooks, erasers, and other office supplies are popular among young people, especially women, who wish to have something different from others. Some people point out, though, that these products do not have significant medical effects.

## 6. 翻訳ソフトの検証と課題

今回検証した特定の翻訳ソフトに限らず、他の翻訳ソフトや Web ページの翻訳サービスなどにおいても少なからず共通する課題を記述した。ただ新語、流行語、カタカナ英語などの語彙については追加更新が容易な Web ページの翻訳サービスの方が更新が逐次出来る分時間的に早く対処出来ているように思われる。

単語登録、語義登録については、翻訳題材によっても翻訳結果は様々であったが、登録語数の豊富な面と反面時として中学生レベルの熟語でも登録されていないものもあった。その為、不自然な日本語訳になる場合が多いので登録単語は一般的な学習用英和辞典の高校準基本語レベルが必要である。その他、熟語、成句、俗語、カタカナ語、カタカナ英語等の登録の充実と追加登録が必要と思われる。

機能上の訳語選択も必ずしも語義の使用頻度から判断されている訳でもなく、辞書でいう第一語義で訳される場合と、そうでない場合があった。語義選択においては複数の品詞を持つ単語において、それぞれの品詞の訳語数が少ない為に誤訳につながる例が見受けられた。より頻度の高い品詞を優先的に選択する機能に加えて、他の品詞登録も充実させるべきである。また動詞を目的語に呼応した翻訳がなされる設定や前後の単語の品詞との組み合わせによって訳選択をするといった活用的な機能を加える事が必要である。

日本語における助詞の処理については、主語を示す格助詞が異なる二文を比較対照した場合、文法的にはどちらも日本語において許容されているにも関わらず、翻訳が出来る場合と、全く翻訳出来ない場合に分かれた。

ソフト自体にワープロソフトのような頻繁に使用される語を優先させる学習機能が付加されているのではないかという翻訳があったが、単語の意味は前後関係により変化するので、大きな翻訳の助けとはならないのではないだろうか。例としては、マイクロソフト社のワードのような自動文書校正の機能によって間違いが生じ得る箇所には、波赤下線が表示されるなどの機能を付け使用者に警告を出すのもひとつの方法である。

## 7. 翻訳精度を上げる付加機能について

### 再翻訳機能

原文を翻訳した際に提示される翻訳と使用者が校正、修正を加えて再翻訳された訳とを比較対照出来る機能。便利である反面、英語がある程度理解できる使用者に限られる機能。

### 訳語選択機能

英語がある程度理解できる使用者にとり便利な機能である。その語を用いられる条件注釈が明記され訳語選択が出来る。注釈が日本語よりも英語の方が理解しやすい場合もある。簡単な例文も掲載されていれば、もっと利用しやすい機能である。

### 対訳機能

翻訳ソフトがどういった基準で文章をして翻訳したかを表示する機能。誤訳解明の手がかりになり得る。解析出来ない時には「構文解析失敗」が表示されるが、表示がなくても誤訳している文章が見受けられた。使用者は「構文解析失敗」と表示されていれば、使用者の注意を喚起するが、そうでなければ正しい訳と判断する恐れもある。

### 翻訳処理モード機能

翻訳スピード(翻訳時の速度と精度どちらを優先するか)、訳文の文体、分野設定(専門分野を指定すると翻訳時にその分野に応じた訳語が優先的に使用される)、固有名詞・大文字語・頑字語の取り扱い設定ができる。この機能を利用することにより、ひとつの文章に対し、幾通りもの訳文を得ることが出来る。使用者の求める種類の訳文を得ることが出来る。また、翻訳する文章中に人名やカタカナ表示したい語がある場合、この機能を利用出来る。

## 8. 翻訳ソフトの有効利用を考える

翻訳ソフトの特徴を理解した上で、英語能力レベル別に翻訳ソフトを有効に利用する方法について考えてみる。

### 初級者レベル

基本的な意味を調べ、単文を訳すことは出来るが、正確な翻訳と誤訳を正確に判断することが難しく、訳語選択機能の使用も困難である。辞書の完全な代用物としては不適切であるが、翻訳処理を短時間に出来る。疑問が生ずる訳文には、辞書や文法書を用いて訳してみることである。ただし誤訳に気付かない可能性も考えられるので注意が必要である。中学校教科書レベルの英文の翻訳や、初歩レベルを対象とした書籍翻訳は難しい熟語や文法が少なく、主部・述部が明白に提示されていることが多いので利用しやすいと思われる。

### 中級者レベル

不自然な翻訳箇所を訳語選択やその他色々なソフトの機能を使い訳文を得る。あらかじめ翻訳できる文型を登録されているが、それに当てはまらない文構造や長文で主語の不明確なものや、複雑な構文は誤訳になりやすいので、利用者による修正が後に必要となる。そのような翻訳結果の修正が出来るレベルの使用者が最も有効活用が出来ると思われる。

### 上級者レベル

翻訳ソフトに頼って直訳、誤訳を訂正しながら訳を進めるより、自分で翻訳した方が自然な訳文が出来る

ると推測される。従って、このソフトを利用する利点は辞書を引く手間が省ける程度であると思われる。ただし比較的文構造のしっかりしている英文の論説、記事などの場合は翻訳処理後に修正を加えるという使用法も考えられる。

## 9. おわりに

翻訳ソフトの精度は **upgrading** ごとに上がる傾向が見られるが、やはり言葉の冗長性が多く含まれる口語文などの翻訳精度は高くない。特に日本語から英訳の場合には日本語の特徴である主語の省略、助詞、かかりの難しさ、語順のあいまいさ、言い回し、直裁的でない表現などの翻訳上の難しさがある。ただし基本的な構成が正確な文章であれば、高い精度で実用に即する範囲を示すので、今後の翻訳ソフトの開発においては：中核的意味の本義、語源的意味の原義、品詞の選択、語形変化、名詞の複数形、動詞の語形変化、形容詞・副詞の語形変化、語法、用例、文型、連語関係、成句・句動詞などの研究に加え、またスピーチレベルに対応した翻訳や辞書に見られる相互参照をソフトの基本動作に取り入れる事が出来れば、少なからず翻訳ソフトの性能と信頼性が向上すると思われる。

現在日本における翻訳ソフト利用のほとんどは英語、日本語の相互翻訳と考えられるが、この翻訳ソフトを一般的には英語と比較してなじみの少ない英語以外の言語の翻訳にも安心して使用出来るように開発がなされることを期待する。

## 参考文献

- Grace Catalano, *LEONARD A Scrapbook in Words and Pictures*, Bantam Doubleday Dell Books (1997)
- LONGMAN DICTIONARY of AMERICAN ENGLISH NEW EDITION, LONGMAN(1997)
- A.I. Logic, E-JBANK User's Manual(Ver. 7 Copyright)(1998)
- A.I. Logic, J-E BANK User's Manual(Ver. 6 Copyright)(1998)
- 『MINI WORLD June-July 1999 No.65』, 構造システム(1999.5.12)
- 『NHK ラジオ やさしいビジネス英語 1998年6月号』, 日本放送出版協会(1998)
- 上垣暁雄, 『即戦ゼミ 項目別征服 入試頼出 英語問題基礎演習 <新選改訂版>』, 桐原書店(1994)
- 上垣暁雄, 『即戦ゼミ 大学入試 英語頻出問題総演習 <四訂新版>』, 桐原書店(1995)
- 成田一, 『パソコン翻訳の世界』, 講談社(1997)
- 広田成章, 『MASTERY 高校新基礎英語新訂版』, 桐原書店(1993)
- 井上義昌, 『英語類語辞典』, 開拓者(1956)
- 小稲義男, 『研究社 新英和大辞典 <第5版>』, 研究社(1989)
- 小稲義男, 『新英和中辞典』, 研究社(1985)
- 小西友七, 『ジーニアス英和辞典 <改訂版>』, 大修館書店(1998)
- 小西友七, 『フレッシュ ジーニアス英和辞典 <改訂版>』, 大修館書店(1992)
- 小西友七, 『ヤング ジーニアス英和辞典』, 大修館書店(1992)
- 山岸勝栄, 『ニューアンカー和英事典』, 学習研究社(1990)
- 山田俊夫, 『角川新国語辞典』, 角川書店(1990)
- 『デイリーコンサイス 英和英辞典 第4版』, 三省堂編集所／編 三省堂(1993)